

# ペットパーライズ

福津市議員榎本事務所

倉富汐里  
吉野桃花  
吉武和奏

# 目次

- ・ Visionの説明
- ・ 課題
- ・ 政策①～③
- ・ 予算について



「住民が気軽に政治  
に参加できるまち」

高齢者向けの政策が多いよね



若者が政治参加しないからじゃない？



誰もが気軽に政治参加ができるまちを目指そう！



「住民が気軽に政治  
に参加できるまち」



**vision**

「住民が気軽に政治に参加できるまち」

若者が政治に対する意見を発信するまち

世代間の壁なく交流できるまち

議員と住民の交流が深いまち

多様な住民の意見が反映されるまち

# 課題

1

若者の政治参加への意識が低い

2

政治についての情報を得ることが難しい

3

住民の声を届けるシステムが少ない

# 政策

- ①主権者教育
- ②情報発信政策
- ③住民による意見発信



# 政策①

## 主權者教育

# ①主権者教育

学校教育において、総合学習や課外活動などの実践的な政治に関する学習を増やす



## 【具体例】

- ・ 選挙仕組みや方法について学ぶ授業を行う
- ・ 議員が学校に講師として赴く
- ・ 政治に関するディベート学習を行う





# 効果

1. 政治に対して正しい知識が身につく
2. 政治への関心が高まる
3. 女性や若い議員など、議員候補の幅を広げる

# 政策②

## 情報発信政策

## ②情報発信政策

誰しもが必要な情報入手できる環境づくり

### 【具体例】

1. ホームページや広報誌の改善
2. SNSの活用



# ホームページの改善

ホームページを見たところで政治を理解できない、

検索欄を見つけやすい

今最も取り組まれていることが強調されている

最新情報を見やすい位置に表示している

ナビゲーションボタンがまとまっている

背景が市の景観の写真で魅力的になっている

例：京都府京丹後市



## 広報誌の改善

### 世代別の広報誌を作る

学生向け：同世代の行っている活動の紹介、市内の高校大学の紹介、  
ページ数の簡潔化

社会人向け：利用できる福祉制度の紹介、ページ数の簡潔化

高齢者向け：健康に関する情報やコミュニティ活動の紹介、  
脳トレクイズの出題、字を大きく印刷

## SNSの活用

若者向けにLINE・twitterなどのSNSを通して最新情報や市の情勢について発信する



## 効果

1. 気軽に市の情勢を知ることができる
2. 政治についての情報を探しやすいになる



# 政策③

住民による意見発信

# ③住民による意見発信

住民が議員に気軽に意見を発信できる場を作る

## 【具体例】

- ・ワークショップ
- ・ラジオ

市民参加型



# ワークショップ

住民と議員の意見交換の場を設ける

市の課題について  
話し合う

議員は市民の声を直接  
聞くことができる

❖ 長期休みには学生向けのワークショップを行う  
(政治に関わる分野を多様に学び、討論する)



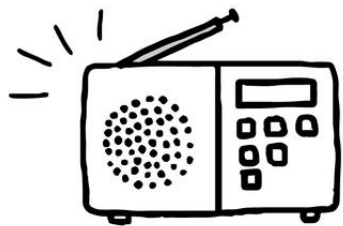
# ラジオ

住民の意見を拾い発信する場

住民への  
インタビュー

議員からの議  
案についての  
説明

議員への質問や  
コメント



はがきやfaxなどの紙媒体での宣伝

❖ ラジオ離れしている若者

YouTubeライブ      Twitterでの#投稿



若者からお年寄りまで聞くシステム



# 効果

1. 住民と議会の距離が縮まる
2. 住民の意見を反映した政治をしやすくなる

## 関心組

政治についての情報を得ることが難しい  
住民の声を届けるシステムが少ない

## 無関心組

若者の政治参加への意識が低い

政策①：主権者教育  
政策②：情報発信政策

政策③：住民による意見発信

住民が気軽に政治に参加できるまち

# 予算について

政策① 3100万円

→教材費（3000万）、謝金（100万）

政策② 5062万円

→HP改善+維持費（2000万+162万=2162万）、  
広報誌（2400万）、  
SNS運営維持費（500万）

政策③ 6090万円

→ワークショップ（90万）、ラジオ（6000万）

合計：1億4252万円

このようなまち住んでみ  
たいと思いませんか？